

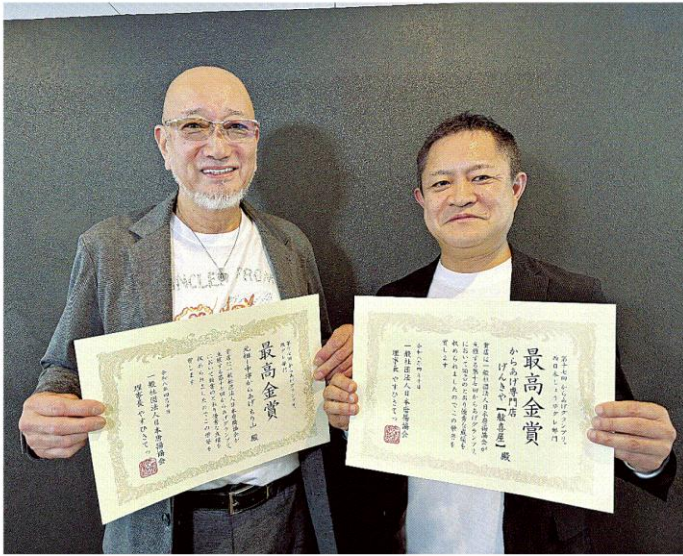


日本唯一の唐揚げ全国大会授賞式

「聖地」中津で初開催

【中津】日本唯一の唐揚げの全国大会「第17回からあげグランプリ」の授賞式が10日、中津市東本町のヴィラルーチエで開かれた。例年は東京開催だが、初めて「聖地」とされる中津が会場となった。最高金賞に地元2店舗が選ばれるなど、呼び名に恥じない実力を見せた。

からあげグランプリは、日ダレ、手羽先などの一般部門、本唐揚げ協会が「日本で一番うまい唐揚げ屋さんを決めよう」と2010年から毎年、7店舗のエントリーがあり、インターネットで集まった11万人の投票で受賞者を選ん



最高金賞を喜ぶ森山浩二さん(左)と井口泰宏さん(中津市)

最高金賞に「格別にうれしい」 地元2店舗

だ。金賞61店舗のうち、県内からは9店舗が入った。授賞式には、金賞を受賞した全国各地の専門店やスパーなどの関係者約200人が出席した。金賞の店舗代表者がステージに並ぶ中、各部門の最高金賞を発表。中津市内からは塩ダレ部門で「元祖！中津からあげ もり山」、西日本しょうゆダレ部門で「からあげ専門店げんきや」の2店舗が選ばれた。

「もり山」の森山浩二「取締役(67)は、14度目の最高金賞。今回は地元開催なので格別にうれしい。もっとおいしい唐揚げを作りたい」と笑顔。「げんきや」の井口泰宏取締役(53)は「今まで取り組んできた材料や調理工程を守り続けた成果だ」と喜んだ。

その他の県内の金賞受賞店は次の通り。

- ▽西日本しょうゆダレ部門 からあげ太閤「唐揚げ専門店りあん(宇佐市) からあげの鳥ん(中津市) からあげ(吉野)以上
- ▽手羽先部門 あげ処(中津市)
- ▽西日本味バラエティ部門 中津彩鶏タ〜イロトリドリ(中津市)▽弁当部門 からあげ専門店げんきや、吉野 以上、中津市

(佐藤栄宏)

「唐揚げで世界を動かす」



「カラアゲシティプロジェクト」の共同宣言をした中津、宇佐両市の唐揚げ専門店代表者ら(中津市)

中津市と宇佐市が共同宣言

【中津】唐揚げの「聖地」とされる中津市と「専門店発祥の地」と呼ばれる宇佐市は10日、「カラアゲシティプロジェクト」と題した共同宣言をした。唐揚げを通じて食文化の向上や観光PRで力を合わせる。

「第17回からあげグランプリ」授賞式の会場で、奥塚正典中津市長と後藤竜也宇佐市長が共同宣言書にサイン。2人は「唐揚げで世界を動かすムーブメントにしたい」などと氣勢を上げた。

唐揚げを通じて①文化の継承②進化③地域の共創と発展④平和と笑顔の創造などに取り組むという。



〔問①〕 「第17回からあげグランプリ」の一般部門にエントリーした店はいくつですか。

397店

〔問②〕 中津市と宇佐市はそれぞれ、からあげの「何の地」とされていますか。

(中津市：聖地)

(宇佐市：専門店発祥の地)

〔問③〕 今回、「第17回からあげグランプリ」の「塩ダレ部門」で最高金賞に選ばれた店は
何という名前ですか。

元祖！中津からあげ もり山

〔問④〕 中津からあげや宇佐からあげのようなご当地ならではの食べ物を、こうしたイベントやPR活動で広めていくことは地域にとってどんな影響があると思いますか。

(解答例)

- ・ 地元の自慢が生まれる
- ・ 食べ物により地域の特徴がイメージしやすく、地元の知名度がアップする
- ・ 専門店などが複数誕生し、一つの観光地となる など